

KENZAI NAVI Journal

建材と建築家の情報誌

Vol.
20
2023

Special Interview

一般社団法人
東京都建築士事務所協会会長 児玉 耕一
デジタル化が示唆する新たな指針
「リアルとの融合」

Project Story
出会いと創造

自然素材だから叶う「経年美化」
優雅さや余裕に満ちた暮らしへ



Prairie Homes
プレイリーホームズ株式会社



archidate design Inc
アーキデイトデザイン



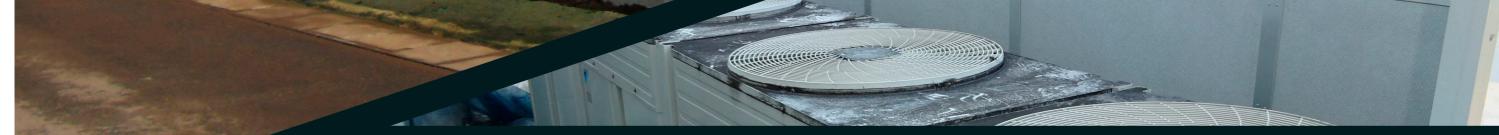
KENZAI NAVI
Journal

「建材ナビジャーナル」 vol.20 発行：株式会社プログランス 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4 KUSAFUKA Bld.4F Tel.03-3225-3569

暮らしを変える、
音から変える

防音・遮音 へのこだわり

工業用に特化した騒音対策用吸遮音パネルです。工場の機械・機器の騒音対策用の防音ボックスや防音ルーム、防音壁等の素材・建材として屋内外でご活用いただけます。また、一般住宅の室外機の騒音対策にも対応しております。

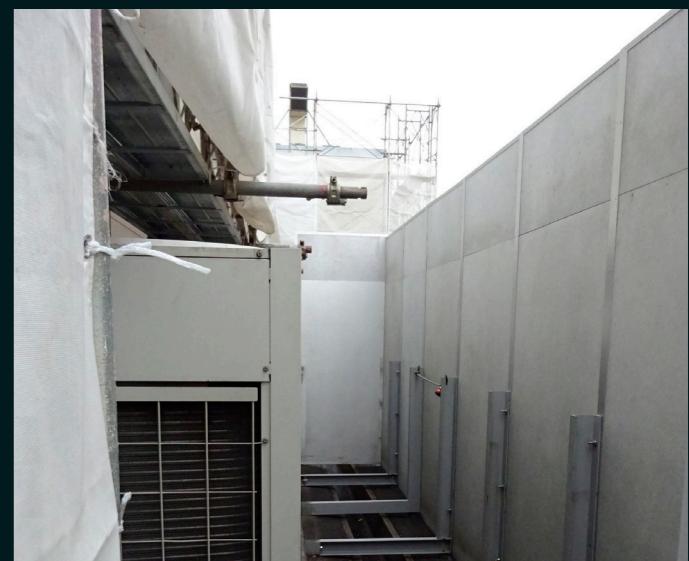


室内外使用可能。薄くて頑丈な防音パネル

パネル1枚で低周波～高周波の吸音・遮音効果が可能です。マンションや住宅の室外機、エコキュートなどの防音壁として活用ができます。また、工場や機械音対策用にも有効な防音パネルです

一人 静

Hitorishizuka Type A



静 株式会社 静科
<https://www.hitori-shizuka.jp/>

〒243-0807
神奈川県厚木市金田492-1
電話 046-224-7200





CONTENTS

2023

Kenzai Navi
Journal

Special Interview

デジタル化が示唆する新たな指針 「リアルとの融合」

新たな時代に適応する解決策を、多様な選択肢から

Manufacturer
EVが身近にある環境が、あらゆる社会課題の解決に繋がる
Terra Motors 株式会社

Manufacturer
快適性と安全性を目指して、居住環境に新たな価値を創造する
オイレス ECO 株式会社

Manufacturer
外付けブラインドで太陽光を自在にコントロール。年間を通して快適ライフをお届けします。
オスモ & エーデル株式会社

出会いと創造 — プロジェクトストーリー —

Project Story
自然素材だから叶う「経年美化」。優雅さや余裕に満ちた暮らしへ
ブレイリーホームズ株式会社 × アキディテデザイン

Project Story
西陣織が奏でる光のグラデーション。インテリア際立つ究極の伝統美を追及
株式会社加地織物 × 株式会社サム・マイヤー

建築家の見る光景 —「人と建物」が紡ぐストーリー—

Architect
デジタル社会の環境下で求める「本物」「普遍的」であることの意義とは
藤田 廉 株式会社フジタケイ建築設計事務所／KFA

Architect
こだわりの強いお客様の時ほど満足度の高い建物に仕上がる
石井 勇人 株式会社 studio acca

Information
建材ナビ & かたなび



Special Interview

DXで大きく広がる
可能性とそこから見える
「バーチャル」と「リアル」
の相互関係とは



デジタル化が示す新たな指針 「リアルとの融合」

大都会東京で活動する建築士事務所を束ねる一般社団法人東京都建築士事務所協会。DX対応が世界の潮流となる今、建築界におけるその存在意義は大きい。本日は自らも建築家として豊富なキャリアと経験を活かし、東京都建築士事務所協会の会長を務める児玉会長に協会の活動と展望について伺った。

協会のベースは仲間意識と地域貢献

——本日はよろしくお願ひいたします。最初に協会の役割についてお話を伺いたいと思います。

児玉 建築士事務所協会は、全国47都道府県にそれぞれあります。東京都にあるのが東京都建築士事務所協会で、設計業界の発展に寄与するべく、いわゆる建築士事務所を経営する経営者あるいは開設者の方々が集まっています。また、近年ものすごい勢いで変わる建築法規について行くための研修実施なども不可欠です。行政への働きかけと共に、仲間意識を持つ助け合うということも本協会を構成する重要なベースになっています。

東京都建築士事務所協会は23区に各1支部、プラス多摩地区に6支部と合計29の支部があります。狭い東京都とはいえ、やっぱり東方の下町地区と西方の多摩地区では、設計活動として条件が違ってくるので、そういう意味で地域

デジタル化が示す新たな指針 「リアルとの融合」

——確かに。そうですね。ところで、近年よく取り上げられるDX化についてなのですが、やはり、会議やセミナーなどもウェブでできると非常に便利ですよね。

児玉 会議もそう、セミナーなどもウェブで情報の伝達だけで決ることは勉強するには簡単でできます。何より自分のオフィスからできるのが非常に便利でいいのですが、一方で微に入り細に入りの質問や、本当のノウハウ的なところというのは、直接専門の先生に聞いたり、あるいは会議で仲間に直接聞いたりしないと出でこない部分があるわけです。

それは皆さん、コロナ禍のこの2年間で結構学ばれていて要領よく、こういう時はウェブ、こういう時はリアル、と使い分けられているようですね。

——使い分けることが重要なのですね。私たちも情報がいっぱいあり過ぎて、どこからどう処理してよいか迷うことも結構ありますから。

児玉 ええ、そこなのですよね。情報はいっぱいあるけれど、どれが、どの程度に信頼している情報なのか、というのは、コストパフォーマンスとも関わり、迷うところだと思います。

——実際、何か反響だったり、こうしてほしいなど建築士の方からウェブ通信に関しての要望などはありましたか。



緊急性の高い震災直後の建物の応急危険度判定や、行政庁の主催する様々な委員会や講習会への委員や講師の派遣などを行、協会内で共有するとともに広く一般社会への貢献に努めている。

江戸川や墨田などはですね、やはり低い土地で地盤もかなり軟弱なところですからね。杭なども小さな建物も結構長い杭を打っていますので、建材としては杭のメーカーさんがこれらの地域にはアプローチした方が良いという実情があります。

支部活動の中でも場所によっては士業連携といって、弁護士だと、家屋調査士とかいろいろな士業が10個ぐらい集まって地域貢献しているのもかなりあります。これは建築相談といふ名目で相談を受け付けても、

での違いを上手く反映させ、区や市の職員の方と一緒にになってやって行く必要があります。ボランティア的な地域貢献においても、例えば地震に対応した応急危険度の判定員の派遣など、防災協定みたいな話もあるのですが、区ぐるいのスケール感で対応する方がしっかりと伝わるよう思います。

また、例えば東の方の江戸川や墨田などはですね、やはり低い土地で地盤もかなり軟弱なところですからね。杭なども小さな建物も結構長い杭を打っていますので、建材としては杭のメーカーさんがこれからの地域にはアプローチした方が良いといふ

実際には建築技術の話や建築上の法的な話よりもほとんど土地の問題だったり、家屋調査の問題だったり、あるいは隣との紛争の問題で弁護士さんが当たつた方がいいような内容ですか

ら(笑)……。

そういう意味で、士業がまとまっているといふ

仕事を常日頃やっているので、プロジェクトマネジメントといいますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれません

うのは非常にいいことなのです。

意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという

仕事を常日頃やっていますか、状況やニーズに応じて、前裁さができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そちらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言つてくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるのですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどといふ話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけ

でして……。

topics

令和5年新春賀詞交歓会が開催される

一般社団法人 東京都建築士事務所協会が主催する「令和5年新春賀詞交歓会」を取材させていただいた。東京・明治神宮外苑に併む明治記念館「蓬莱の間」にて、恒例の新春賀詞交歓会であるが、コロナ禍の影響を受けて今年は3年ぶりの開催となり、会員および協会関係団体の出席者同士の深い交流の様子が垣間見られた。児玉会長を初め、来賓の方々によ

る祝賀の挨拶には盛大な拍手が贈られ、交歓会は大変な盛況のうちに進められた。最近の緩和政策により、こうした記念すべき交歓会が全国で再開されるようになった新しい年に、出席者の表情からは安堵と喜びが伺え、熱気に満ちた集まりとなった。

令和5年1月30日



今回、建材ナビでは初めての取材参加となりましたが、東京都建築士事務所協会が、コロナ禍以降の対策や対応をしっかりとされた中で、協会の中での人ととの交流をとても大切にされている側面に触れることが出来、とても貴重な取材だったと感じております。今年はより直接顔を見合わせた交流の機会も増え、更なる協会のご活躍が期待されると実感致しました。



取材：秋葉早紀
建材ナビ広報担当

建築に携わる様々なジャンルの御出席者並びに、協会の皆さまに新年度の抱負など伺うことができ、有意義なひとときを過ごしました。

—BIMの今後についてはどうでしょうか
児玉 BIMの教育という意味合いかり言えれば、もう少し共用で使えるもの、例えばここにBIMのスタンダードアロン型の2、3台を置いて貸し出したらどうだという話もあるくらいです。導入に数百万もかかるとしたら、二の足を踏んでしまうのが実情ですから・・・。様々な事情から、今ご要望のような完成された具体策とか、明快なビジョンが既に用意されているわけではないので、準備をしつつもそれは社会的なニーズに沿って即応体制でやって行きますとか言いようがないです・・・。(笑)

—いえいえどんでもありません。本日は、大変興味深い貴重なお話をいろいろ伺えまして、勉強になりました。今後とも、貴協会の益々のご発展をお祈りして、インタビューを終了させます。有難うございました。

—設計者の方もそれに対応しつつ、準備は大体整ってきているということですか。
児玉 まだスタートラインに立っていないかも知れないけど、スタートラインに立つ時に備えて、ランニングシューズとかランニング用の服装ぐらいは、どういうのを買えばいいかわかつたぞ、とそんな感じですよ(笑)。

例えは、私が設計のまとめ役をやっていた時代に、新入社員の教育をする場面がありました。ここ20年くらいの新入社員というのは、大体CADの操作、3次元の絵の書き方など、バーチャルの中で、ものすごく手際いいし、理解

崧のうちに進められた。最近の緩和政策により、こうした記念すべき交歓会が全国で再開されるようになった新しい年に、出席者の表情からは安堵と喜びが伺え、熱気に満ちた集まりとなつた。

崧のうちに進められた。最近の緩和政策により、こうした記念



建築業界のこと、協会のことについて、とても丁寧に語ってくださいました。

そのリアルな感覚というのが大事なんですよ。具体的に間違った例を挙げますと、カタログ中にドアの押し手引き手というのがあります。新人に自分で設計したり、デザインもいろいろな形で、格好いいのが沢山あります。新人に自分で設計した建物のドアの押し手引き手の中で、どれかを選ぶとなると写真に載っているカッコいいプロポーションを選ぶのですが、これが間違いでそれを握つてみた感覚は無く、見た目のデザインだけで選ぶと、実際に触つてみたら、太さの具合などで使いにくいやねとなるわけです。だから本当に自分でそれを握つてみた感覚は無く、見た目のデザインだけで選ぶと、実際に触つてみたら、太さの具合などで使いにくいやねとなるわけです。

児玉 それはね、どんどんやつて頂いたらよいと思います。建築の設計というのは、些細な部分も含めて全部のものがわかつてないといき上がつてこないものなのです。構造の話も設備の話も、また植栽そして四季折々の違いも、そういうのが全部解つていないとできないところはあるので、建築家はある意味かなりな物知りで、語らせる結構うるさいですよ(笑)。

それはね、かつて建築の設計とか建築のつくり方そのものが全てオーダーメイドだったわけです。1品製品をトータルにまとめて行くみたいなところがありますが、最近の建築の作り方の中で特徴的なのは、やはり部品化なんですよ。ユニットバスにしても、ぎりぎり我々ぐらいうの時代までは、ユニットバスもオーダーで作りましたが、今の時代にはたぶん部品を選択をして選んでいくだけなので、その部品を選ぶス

トリーが建築の設計に与える影響のような話になります。

—確かにそうですね。
児玉 一度建築士事務所協会が積極的に取り入れられているDXとカーボンニュートラルへの今後の取り組みへ

—分かりました、皆さんに読みやすい形でお届けできたらと思います。最後に、東京都建築士事務所協会が積極的に取り入れられているDXとカーボンニュートラルへの今後の取り組みへ

—確かにそうですね。
児玉 それを視野に入れておかないといけませんね。到達にはハードルが高いので、我々だけで何とかなるとは思っていませんが、建築の場合は、建築士事務所といふか、建築士の方々は眞面目な人が多いから。法律で決まり、技術レベルが上がつてくれればできると思います。

DX化の中でBIM導入や全体のデジタル化は今後も進んでいくと思いますが、カーボン・ニュートラルについては、日本より欧米の

組みなどについてお伺いしたいのですが。
児玉 方向性といいますか、カーボンニュートラルと言えば、当然ながら省エネという言葉で置き換えられると思うのですが、実際に、問題は既存建物の改修であり、新築たしないとなれば絶対基準を守つて出来上がりしていくわけですよ。

ところが、家を買って、あるいはビルを建てて10年たつもののを今の省エネ基準に合わせるよう改修しなさいっていうのはこれはなかなかかしい。実際にオーナーの方もそれをやつたからといって家賃が多く入るわけではないですから、そういうインセンティブが付いてくる訳ではない。

今後、単純にそれだけやつていると皆、インセンティブがないから改修ができないところになってしまいます。分かり易い例えとして、賃貸マンションなどで、カーボンニュートラルや省エネ基準を表示的にAクラス、Sクラスを達成しましたよ、などという表示制度により物件であれば、法律や制度で省エネの基準を満たしなさいとなれば絶対基準を守つて出来上がつていくわけですよ。



新たな時代に適応する解決策を、多様な選択肢から

建材メーカーのこと、建材業界のこと、製品はどのように生まれるのか、施工実績がどのように社会に影響を与えるのか、ものづくり企業としての、苦労や喜びなどの想いをたっぷり語っていただきました。建材メーカーへのインタビューは、建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリンク」でも同時紹介しています。

SumaiRing



Manufacturer



ヨーロッパでは当たり前の外付ブラインドを国内で普及 居住環境に新たな価値を創造する

外付ブラインドブリ
イユ®の外観 日よ
け、西日対策、採光、
通風、換気、目かく
しといった様々な優
れた特徴を持ち合
せている。



外付ブラインドブリ
イユ®の内観
外からの視線など気にすることなく
安心して窓を開け、自然の風を取り
込むことができる。1年を通してエ
アコンの使用率を減らし効果も。

オイレス ECO 株式会社
住宅機器営業部 大阪営業所長

加藤 久詔



オイレス ECO では、外付ブライン
ド「BRILL (ブリュ)」を通してお
客様の窓まわりにおけるさまざま
なお困りごとを解決することで日
本の四季をより快適、安心、安全
に過ごしていただけるようなご提
案を心掛けています。



30 年も前に開発され今まで累計 10 万台以上の出荷。
新築時でもリフォーム時でも設置できます。

今回一押し製品としてご紹介したいのは、弊社近江工場で製造している製品「住宅の窓の外に取り付けの外付ブラインド」「ブリュ®」です。本製品は 30 年も前に開発され今まで累計 10 万台以上の出荷をしてきた製品です。新築時でもリフォーム時でも設置できます。

また、台風のある日本の四季を配慮して頑丈に作られており、その用途は多岐に渡ります。最近、新型コロナ感染防止のための換気時にブラインド状態で使用したいというご要望や、物騒な事件が多く起きたため、「侵入への抑止力」としてお問い合わせいただくことが増えたのは、頑丈な本製品だからこそです。今まさに時代とマッチしていると自負しています。

よく比較されるシャッターに比べてしまうと高額製品ではありますが、多くのメリットや様々な用途で使用可能なので、ご満足いただいていると思います。時にはシャッターのように堅牢で、時にはブラインドのように気軽に使いいただけます。ブリュ®は私たちにとって最も身近でクリーンなエネルギーである太陽光と上手に付き合ふことができる製品ですので、夏場の低減にも寄与します。長い目で見て、いただくと「設置してよかった!」と実感いただけるでしょう。

競合との差別化はどのように図っていますか?

オイレスの製品はトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑の技術）とダンピングテクノロジー（運動エネルギーを減衰する技術）が基となっています。私たちのお客様のご要望、お困りごとに寄り添い、市場創造型の研究開発メーカーと



予想しなかった活用ニーズ

コロナ禍では温泉旅館で露天風呂つきの客室が人気であったと聞きます。ブライバーを守りながらも景色を眺めることができる「ブリュ」モデルの特注仕様が本用途で採用される機会が増加しました。お客様のご要望に合わせてカラーはもちろんのこと、「音鳴り防止」「誰もが簡単に操作できるハンドル形状」など、それぞれカスタマイズしたものを納入しています。



猫ちゃんが外を眺め、匂いを感じられる

ベットと暮らしている方が換気や飛び出し防止のために設置されることはこれまで多くありました。が、猫ちゃんがいつでも外を眺めたり、外の匂いを嗅げるように設置してあげたい、というご要望は初めてでした。こちらは既存住宅への後付けで設置させていただきました。

まだまだある。予想しなかった使われ方!

勝手口ドアの防犯目的として
通風ドアの通風時、網戸だけの不安対策として抑止効果を見込んで設置。

病院や銀行の受付カウンターのシャッター代わりとして
閉店後オープースペースの気配を感じ取れる目的で設置。

屋外・渡り廊下に雨除けとして
晴天時は全開状態、雨天時はブラインド状態での使用目的で設置。

多目的ホールの上映会時の暗幕代わりとして
ブラインドなので完全な遮光はできないことを了承のうえでの設置。

空気と光
を通す

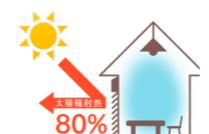
住宅の窓の外に取り付ける外付けブラインド
ブリュ® 全閉から全開へ

開閉も角度調整も自由自在
電動のモデルは障害物検知機能を標準装備。また、ブラインドのルーバーが一枚ずつ重なって収納していくため、開閉時の作動音はとても静か。



一押し
製品!

住宅の窓の外に取り付ける外付けブラインド
ブリュ® の 4 つのメリット



暑い夏を涼しくすごせる

室内に熱を入れないことは夏場の暑さ対策ではとても重要。窓の外で太陽の熱をカットすれば室温は最大で 3℃ 下がる。西日対策にもとても効果的。



風通しのいい家でくらせる

自然の風が心地よい季節は、さわやかな風が通り抜ける心地よい空間が人とペットの心身の健康を保つ。



プライバシーを守る

分厚いカーテンや雨戸を閉めっぱなしという生活から解放。上手く角度調整することで、「室内から外は見えるけれど外からはほとんど見えない」という状態を作ることが可能。



暴風雨から家を守る

風速 44m/s 相当の耐風圧試験をクリア。閉め切らず少しだけ風が抜けるようにルーバー角度を調整すれば、窓ガラスの破損被害を減らす効果も。破損時でもルーバーを一枚ずつ交換可能。

出会いと 創造

メーカーと建築家の
ジョイントプロジェクト



老人ホームの入居者様に、心地
よさと癒やされる空間を提供す
るために、両者で創造してきた
ことについて語っていただいた。



— vol.11 —

KYOGO  SOME MAYER
株式会社加地織物 株式会社 サム・メイヤー

150年以上前に創業した西陣織メーカーである加地織物が、西陣織の可能性を
広めるべく立ち上げたインテリア向け西陣織ブランド KYOGO。そのインテリ
ア事業部の山口氏と、医療・福祉施設や保育園といった案件に対して数多くの
施工を行っているサム・メイヤーの染谷氏とのプロジェクトストーリー。

建築家と建材メーカーはどのようにしてマッチングに至ったか。プロジェクトはどう完結したか。
建材ナビを通じて知り合った、建築家と建材メーカーの両者にインタビュー。知り合ったいきさ
つ、施工案件の内容、施工のコンセプト、材料の選定と提供など、現場のリアルをたっぷり語っ
て頂きました。建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリンク」でも同時紹介しています。



— vol.10 —

Prairie Homes  archidate design Inc
プレイリーホームズ株式会社 アーキデイト デザイン

木という自然素材を中心にフローリングや建具などを豊富に展開し、「経年美
化」を推奨するプレイリーホームズの林氏と、「名古屋で1番お客様を幸せに
する家づくり」を目指して、設計・施工・土地購入全てを行うトータルで家づ
くりを提案するアーキデイトデザインの出口氏とのプロジェクトストーリー。

左 施主様が感動したフローリング。色味や風合い。手触りにも満足して頂いた。**右** 外観にマッチした玄関ドア



然の風合いをこのコストで提供できているメーカーは他にないかなと思います。

また、サンプルの手配は即日のレベルで届きます。私どもは、日々忙しい中、お施主様への提案時期も迫ってきます。レスポンスの速さはとても重要になってくるため、とても助かるところです。千種にできたショールームも決して大きくはありませんが、十分フローリングの違いや良さを体感できる設えになつており、ありがたいです。

——この製品を使用してのご感想はいかがでしょうか。

出口 全体的に自然体な風合いはとてもよく、内覧会でも高評でした。木の風合いの質感を残したウレタンクリアのシリーズもあつても良いかなとは思います。

ドナオーカークルミのフローリングも検討しました。家全体のティーストより落ち着いた色味、広すぎない幅サイズ、色味、質感、金額面、すべての面でこの家には合っているなど想い、お客様と实物を見ながら、ニューオークに決定しました。

——プレイリー・ホームズ様とのジョイントはいかがでしたか？

出口 主張しない材やアイテムの品揃えが多くの顧客は求めています。私はわざわざ適所部材でないものも使つたりしてます。そういう所には手が届くような製品も今後も作つてもうれしいですね。引き続きよろしくお願ひいたします。

——施工の際、または完成後に施主様からのご感想などございましたか？

フレイリーホームズ(株)

——アーキテイド・デザイン様とジョイントに至った経緯を教えて頂けますか

林 出口様が東京の設計事務所にお勤めの時から弊社商品をご採用頂いていました。名古屋に戻られてご自分でやられるようになり、ショールームのオープン当初から、設計施工されるお客様といつも一緒に商品の選定にご来場頂いております。

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください

「ショールームご来場時に住宅への思いを伺い、少しでもお役に立てるよう丁寧にご提案させて頂きました」

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください

林 弊社は木という自然素材を中心に商品を提供させて頂いています。自然素材という本物の素材は弊社が提唱している「経年美化」を実現でき、愛着を持つて手間を掛け、未永く使い続けることで、環境の観点からも炭素の固定化

に繋げられると考えています。

また弊業が主体となり、商品開発・製造・輸入・販売を行い、お客様のニーズをいち早くお届けできるように活動しているのが強みであり、こだわりです。だからこそマーケットに即した商品を早すぎず遅すぎずの歩みでタイミングで市場に提供できています。

——貴社の今後の展開、または将来の展望などをお聞かせください

林 これから地球環境を考え、「経年美化」を浸透させ、自然素材のすばらしさを世の中に広めていくべく考えております。

今まで輸入材を中心とした商品展開でしたが、昨今の世界情勢、国内の林業の活性化を考慮し、弊社の国産材比率30%を目標に商品開発も行っています。

最後に弊社の企業活動を通して、多くの方々に住み続けたいと思える素敵なお住まい造りのお手伝いができるよう思っています。

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください

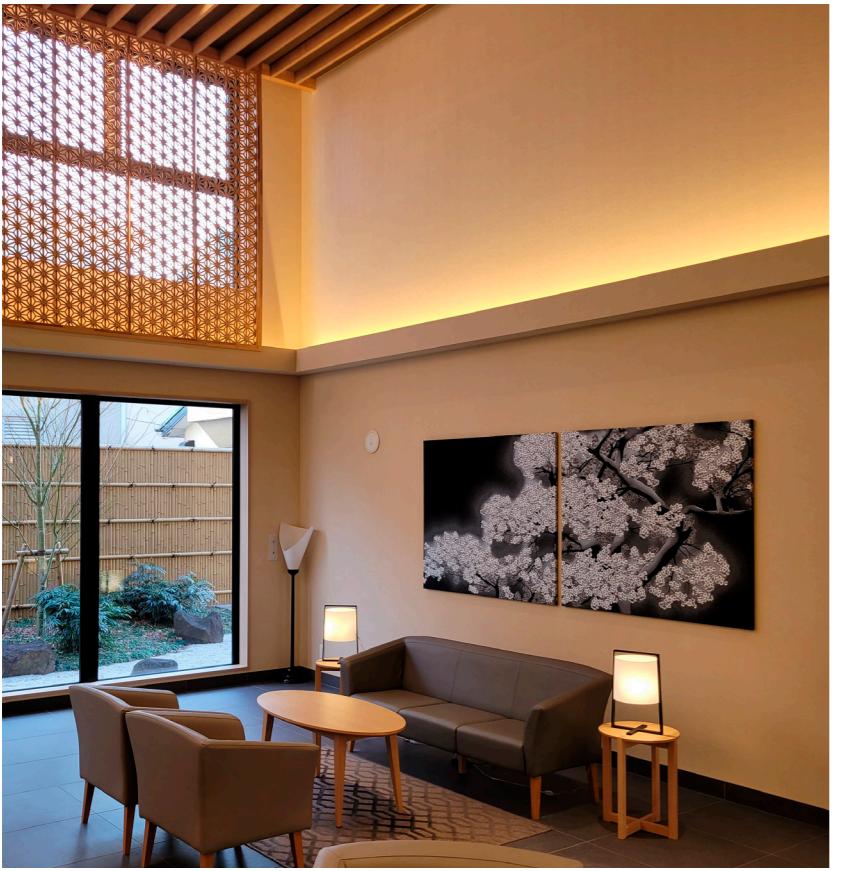
林 弊社は木という自然素材を中心に商品を提供させて頂いています。自然素材といふ本物の素材は弊社が提唱している「経年美化」を実現でき、愛着を持つて手間を掛け、未永く使い続けることで、環境の観点からも炭素の固定化

に繋げられると考えています。

また弊業が主体となり、商品開発・製造・輸入・販売を行い、お客様のニーズをいち早くお届けできるように活動しているのが強みであり、こだわりです。だからこそマーケットに即した商品を早すぎず遅すぎずの歩みでタイミングで市場に提供できています。

出会いと創造

メーカーと建築家の
ジョイントプロジェクト
— vol.11 —



IBUKI003 (silver & white) 経(たて)糸と緯(よこ)糸が織り成す立体構造によって煌めき浮かび上がる自然の数々を表現。時に活き活きと壮大に、時に清らかで神秘的に、生命の「息吹(いぶき)」が聞こえてくるような織物素材。

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください
山口 西陣織の中でも金襴と呼ばれる分野で伝統的に受け継がれてきた技術と、日々研究している新しい技術とを融合させることで、唯一無二の織物を制作しています。中でも先染め織物

「ご要望を伺いながら、いくつかのパターンをご提案させて頂きました」

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください
山口 西陣織の中でも金襴と呼ばれる分野で伝統的に受け継がれてきた技術と、日々研究している新しい技術とを融合させることで、唯一無二の織物を制作しています。中でも先染め織物

——サム・マイヤー様と「ラボに至った経緯を教えて頂けますか
山口 サム・マイヤー様より「建材ナビ」を通して資料請求をいたいたのがキッカケです。製品納入の前に、施工様、またはサム・マイヤー様からのご要望などありましたか
山口 I-BUKI-0003のデザインを2枚のパネルにし、空間を活かして1枚の絵画に見えるようにしたいとのご要望でした。ご要望のサイズにするには、元の製品サイズ(H2200mm×W2880mm×H2200mm×W1440mm×2 pieces)から切り取る必要があるので、ご希望を伺いながらいくつかのパターンをご提案させていただきました。



山口 麻衣 (やまぐちまい)
インテリア事業部所属。アートやファッショニエ業界で働いた経験を活かし、西陣織の可能性を広めるべく KYOGO でしか作れない優雅で感動を生むインテリアアートワークを製作、ご提案しています。



——施工の際に留意した、または苦労したところなどはございましたか?
染谷 西陣織という製品の製造過程において、どうしても製品の幅に制約が生じてしまう為、どのぐらいのサイズが空間に映えるのか、構図はどうのうにするのが一番見えがいいか、を一番に留意して考えました。

KYOGO 様には、何度も構図の変更をお願いしたり、細かな微調整もお願いいたしましたが、その都度、すぐに対応していただきました。

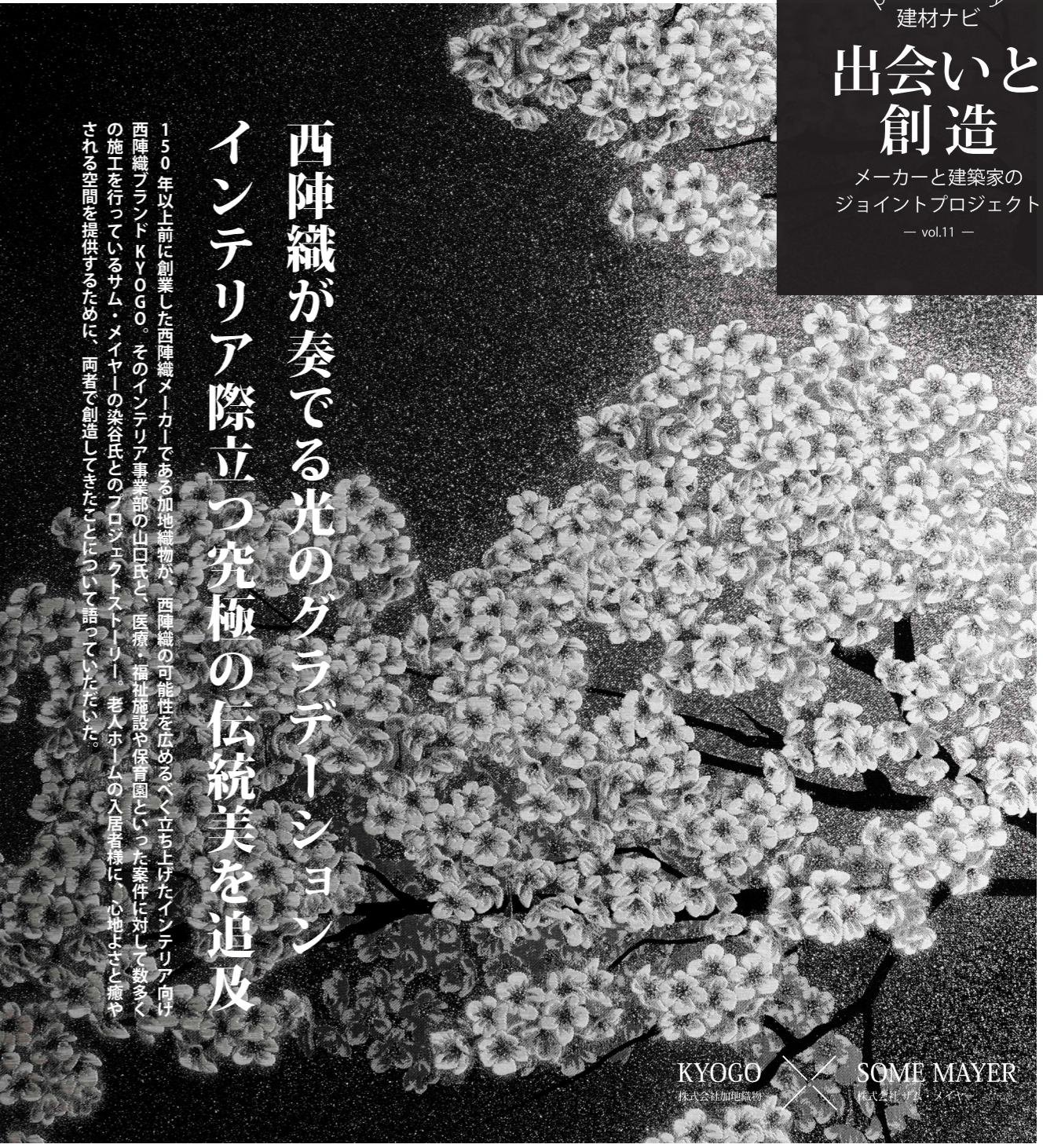
——完成後に施工様からのご感想などはございましたか?
染谷 皆様、西陣織というものを間近で見る機会は、そう多くはないので、間近で見ていただく機会が増えたことは、よかったです。KYOGO 様の西陣織を採用して、空間に華やかさが加味されたことで、建物の品格やグレードを上げることができたことに大変満足しています。

また、機会がございましたら、KYOGO 様の製品を採用したいと思います。

——今回、サム・マイヤー様に採用された製品について教えてください。
山口 経(たて)糸と緯(よこ)糸が織り成す立体構造によって煌めき浮かび上がる自然を表現したシリーズの中から、光を浴びて闇夜に幻想的に浮かび上がる夜桜を表現した製品です。織物ならではの銀糸による光のグラデーションが印象的で静かな中にも力強さのあるデザインとなっています。

——サム・マイヤー様と「ラボに至った経緯を教えて頂けますか
山口 サム・マイヤー様より「建材ナビ」を通して資料請求をいたいたのがキッカケです。製品納入の前に、施工様、またはサム・マイヤー様からのご要望などありましたか
山口 I-BUKI-0003のデザインを2枚のパネルにし、空間を活かして1枚の絵画に見えるようにしたいとのご要望でした。ご要望のサイズにするには、元の製品サイズ(H2200mm×W2880mm×H2200mm×W1440mm×2 pieces)から切り取る必要があるので、ご希望を伺いながらいくつかのパターンをご提案させていただきました。

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください
山口 これまでには今回サム・マイヤー様にご発注いただいたようなファブリックパネルや壁紙を主軸として展開しておりましたが、今後は商業施設や公共施設でもご利用いただける摩耗強度のある椅子・ソファの張地など、インテリア製品の幅を広げていきたいと考えています。また日々研究を重ねることで弊社にしかできない織技術・生地開発を行い、提供することで「加地織物／KYOGO」を世界に通用するインテリアアーティストブランドになることが今後の展望です。



——今回の設計におけるコンセプトをお聞かせください。
染谷 今回の設計におけるコンセプトは、和風を肌で感じられる老人ホームとしました。入居者様が、入居中、どの空間においても、落ち着き、心地よさを感じられることと癒やされる空間を目指して計画しております。

——KYOGO 様の製品を採用された決め手は何だったのでしょうか?
染谷 KYOGO 様の製品は、純和風をベースにしたデザインを踏まえた上で、純和風にも、モダン空間にも合つたデザインになっている所が、私たちが採用した一番の理由です。また、「デザインの種類が多いことも利点の一つです。他の製品との比較検討はいたしましたが、KYOGO 様の製品が一番、空間に合つたデザインだと思いましたので、採用させていただきました。

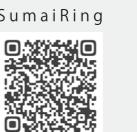


染谷 好信 (そめやよしのぶ)
株式会社 サム・マイヤー代表。建物全般におけるコーディネートに従事。主に医療・福祉施設や保育園といった案件に携わっており、設計事務所に対してアドバイザーを行う。

建築家の見る光景

— 「人と建物」が紡ぐストーリー —

建材ナビのインタビュー「SumaiRing」でシーザン毎に取材している設計士へのインタビュー記事よりピックアップ。住宅、集合住宅、商業施設、公共施設などの施工に取り組む、設計士の体験談をお楽しみください。



「光禪寺認定こども園」
藤田 慶（株式会社フジタケイ建築設計事務所／KFA）



デジタル社会の環境下で求める「本物」「普遍的」であることの意義とは
藤田 慶 株式会社フジタケイ建築設計事務所／KFA



こだわりの強いお客様の時ほど満足度の高い建物に仕上がる
石井 勇人 株式会社 studio acca





一級建築士 / 京都芸術大学、京都精華大学、摂南大学、非常勤講師

藤田 慶
ふじた けい

香川県生まれ大阪育ち。高槻高校卒業。京都大学工学部建築学科卒業。京都大学大学院修士課程修了。2011年フジタケイ建築設計室主宰。2018年フジタケイ建築設計事務所に改称。

京都デザイン賞
京都大学建築学科
100周年記念コンペ実作部門金賞
WOOD DESIGN 賞
住まいのリフォームコンクール
環境・デザインアワード

作品写真 : 藤原次郎
プロフィール写真 : 杉野 圭

デジタル社会の環境下で求める「本物」「普遍的」であることの意義とは

「能動的な行動」を誘発する

教育施設を設計するときは、こどもや学生たちが、何かのアクションを自発的に起こすきっかけづくりを意識しながら計画をしてします。施設側が「あなたたちはここでは、このようにして使ってください」と利用者の行動を規定してしまうのではなく、反対に何もないニユートラルな空間を用意するのでもなく、利用者の能動的な行動を誘発するきっかけづくりが、教育施設には重要だと考えています。



左、上) 光禪寺認定こども園



ポイント!

「遊び心刺激する小さな丘」 階段を上階への動線という機能だけではなく、子供たちの遊び心を刺激するよう、小さな丘のような場を設置。設計段階では安全性を考えもう少し緩くすることも検討したが、園の先生方からもう少し勾配をきつくした方が子供達にとって楽しく感じるではというご意見もあり、今の勾配に。

この場所で過ごした子供たちや学生さんたちが、公共空間の楽しさ自分たちで発見し、能動的に楽しみながら成長すれば、社会も豊かになるのではと、希望をいだいて設計しています。

住まいの物語を未来へ紡ぐ建材

弊社は京都で仕事をさせていただきましたが、西陣織の会社さんに襖紙を作つていただきたり、施主のご兄弟の陶芸家さんに洗

面器をつくっていただいたりしたことがあります。洗面器の底に排水口の金物を取り付けるために穴を開ける際、焼き物だから焼いている間に大きさが変化するようで、窯から出してみると正確な八の大きさがわからぬといわれて、ドキドキしましたが、案するより産むのが易いで、結果的にはうまくきました。

通常既製品をつかうところに手作りの工芸品をつかつたのは、それぞれのクラ

イアントの家にとってその建材を使うス

トリーがあつたからです。特定の建材を適材適所に使うことで、個人や家族、会社、地域などが過去から現在にいたるまで紡いできた物語を未来へ受け継いでいくのではないかと考えています。それぞれの建築のストーリーを紡ぐに相応しい建材を判断し、その建材を空間にどのように参加させるのかを考えることは、設計者の重要な役割だと感じています。

専門家としての「統合力・実践力」が問われている

ネット社会になり沢山の情報が簡単に手に入ることで、勉強熱心な施主の方が増えています。私たちも日々、様々な情報を収集しつつ研鑽を積んでいますが、最新情報を全て知っているわけではありません。そうした個別詳細な情報については、こだわりのあるお施主さんから教えていただくことも少なくなく、反省をしつつもこれが現代社会だと思っています。

一方で、私たちは専門家として個別具体的な情報を統合し、モラルや経験に基づきつつそれを施主に相応しい構想と一緒に考えるようになっています。インプットした多くの情報を統合してアウトプットの実践につなげるのが、私たち専門家の役割だと思っています。施主から難しい注文や無理な注文がくる場合は、与条件の整理や情報の統合ができるいない場合が多く、それはある意味当然です。

そこで私たちは専門家かつ実践者として、情報の整理や状況の構造化を、できるかぎり紙面の説明をこころがけています。そして各論の関係性や優先順位などについて、施主と一緒に考えるようになります。

「つながる」ことから疲れた個人や家族が癒されたり、リラックスできたりする物理的な場所が住宅や庭に今まで以上に求められるようになる気がしています。



上、左) 関西国際大学 カフェテリア レンガ壁の高さに凹凸を設けており、腰をかけたり、窓台のような場所に本や観葉植物を置いたりできるようにしつらえている。

「凸凹高さのレンガ壁」 学生さんが、このレンガ壁の面白い使い方を見つけるようになれば、実際の街に出て同じように楽しめることがあると考えた。



株式会社フジタケイ建築設計事務所／KFA
大阪府高槻市野見町2-8
第2今井ビル4階
0726-58-9531





一級建築士
石井 勇人
いしい はやと

日本大学生産工学部建築工学科卒。(株)アルフレックスジャパン勤務を経て渡伊。Istituto Europeo di Design (ミラノ)、イタリア人建築家Daniela Puppa事務所 (ミラノ) 勤務。その後、Bormioli & Rocco (フィレンツァ) のワークショップ参加。2004年 studio acca 一級建築士事務所設立。2017年 株式会社 studio acca 設立

2003年 "MADE IN TUSCANY"(SALONE DEL MOBILE FIRENZE) 入選。
2008年 "ディスプレイデザイン賞 2008" 入選(GMK本社ビル)

こだわりの強いお客様の時ほど 満足度の高い建物に仕上がる

家づくりについて、しっかりと話し合い最適なパートナーで対応

ご相談内容がどの様な事であったとしても、家づくりや建築に関する事であれば、まずはその方の話をしっかりと聞かせて頂いています。その上で、私達が直接お手伝い出来ることなのか、又は私達が関わるよりも他の方を紹介した方が良い事なのかを判断しています。

当然、ビジネスとしては私達がお仕事として取り組めるに越したことは無いのですが、その方が求めておられる事と私達が提供出来るサービスにギャップがあった場合には、お互いにとってハッピーな結果にはなりにくいと思いま

すので、最適と思われる方法をご紹介させて頂いています。設計依頼の場合には、進め方を説明させて頂いた上で、まずは現地を確認させて頂きます。敷地図や写真だけでは把握しきれない、近隣との距離や敷地の高低差、見える景色等の現地の状況を確認した上で、プランを提案させて頂きます。

やりたい事と、出来る事の擦合せをしながら良い建物を作っていく

設計事務所の案件は詳細まで詰めている場合が多いので、どうしても工事業者様に対して

依頼内容も細かく、かつ、イレギュラーなものになりがちです。その様な時、実際に作る側としての前向きな意見を頂けるとともに助かります。やりたい事と出来る事の擦合せをしながら、家づくりで確実により良い建物になっている良い建物を作っていくことを考えています。

それから現場でのコミュニケーションとして、私たちが知らない納め方や課題点も多くあるので、どのように作ったのかとか、実はどの部分が大変なのかとか、率先して話し掛ける事を意識しています。

案件の当事者同士で何度も話し、一緒に悩むことで得るものはない

面白かった案件はいくつもあります。そのほとんどが、こだわりの強いお客様です。一緒に考えて、何度も話し合いをして、何度も図面を変更して、と言う感じで、正直言ってとても手間は掛かっているのですが、最終的に満足度が高く完成度も高い建物になつていると実感しています。

全て任せて頂けるのもありがたいのですが、やはり私たち設計者も迷うことがあります。その様な時に、案件の当事者同士と一緒に悩んでいくことで、確実により良い建物になつていると感じます。

お客様の方で、色々な情報を調べて私達に教えて頂けることは大変ありがとうございます。その都度私達も勉強させて頂いています。

最近は、ネットの情報を元に、プランや仕上げに対するご要望を頂く事があります。ただ、ネットの情報が間違っているとは思いますが、あくまでネット上の情報なので、鵜呑みにされるのは危険な場合もあると感じています。私達は、建物全体の意匠上のバランスやコスト面、今までの経験値、建物の立地条件、お客様のご要望されている使い方等を踏まえた上で、提案をさせて頂いていますので、お施主様からご提案頂いた内容が今回の案件にはそぐわないなど感じた場合には、お施主様に内容を説明させて頂き、その上で良い解決策を得られるよう努めます。

ご要望の本質はぶれないよう心掛ける

基本的には、難しい注文をされる方が多いです(笑)。毎度の事ですが、頭を悩ませています。しかしながら、私達は、建物を空中に浮かせる以外の事はだいたい解決出来ると思って設計を取り組んでいますので、なぜそれをやりたいのかを伺った上で、解決策を提案しています。その解決策が必ずしもお客様のご要望通りでは無いかもしれません、お客様のご要望の本質の部分はぶれない様にしたいと考えています。

お客様は、ご自身がその建物でやりたい事を整理して頂き、その内容を設計者に伝えて頂いた方が良いです。難しく考える必要はなく『外で食事をしたい』とか『明るい家が良い』とか『テレビは大きい画面で寝転んで観たい』とかそんな程度で。

写真や図面などを見せて頂くのはもちろん情報共有として大変助かるのですが、なぜその空間が必要なのかと言う本質的な部分を設計者に知つてもうらう事が、設計者の最高の提案を引き出す有益な情報になります。



hotel norm. air 2022年に設計した河口湖畔のプライベートホテル。



上) シャワー & バウダールーム 美しい円形のミラーがある洗面室。下) ホテル外観 窓からは河口湖の空・森・湖が望められる。駐車場は3台分。EV スタンドも完備。



株式会社 studio acca
(スタジオ アッカ 一級建築士事務所)
東京都杉並区阿佐谷南
3-49-2-201
03-6913-8189



建材情報をトータル配信
じっくり調べたい



800 社 **18000 製品**

最新の建材ニュース、建材製品検索、製品動画やショールームの閲覧、業界記事、設計士や建材メーカーへのインタビューなど、建材業界のことなら「建材ナビ」にお任せください。

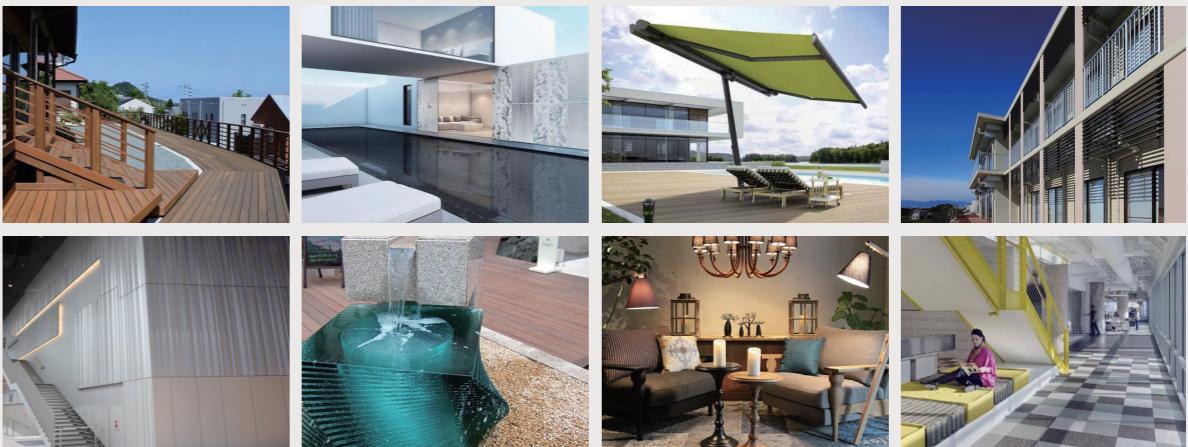
カタログの探しやすさに特化
さくさく見たい



4000 カタログ **16000 ギャラリー**

「かたなび」はカタログの探しやすさにこだわりました。最新の建材カタログがすぐ見つかります。
また選んだカタログはすぐ閲覧できて、他にも取り寄せや、相談・見積依頼も可能です。

施工ギャラリーから探すこともできます。



- | | | | |
|--|--|--|--|
|  News
新製品発売や、展示会の情報など業界ニュースを閲覧できます。 |  Product
建材製品の検索、閲覧、取寄せお問合せ等ができます。 |  Movie
動画で紹介している製品も多数ございます。 | |
|  Showroom
メーカーショールームを紹介。VRのショールームもあります。 |  Interview
設計士や建材メーカーの取材記事を紹介しています。 |  Article
建材に関する役立つ記事、業界のコラム記事等を紹介しています。 |  Q&A
製品や施工に関する悩みやアンサーを投稿できるフォーラム |
|  Outlet
不要になった建材製品のアウトレット販売をしています。 | | | |

Kenzai-Navi
建材ナビ

CII **かたなび**
CATANAVI